

# 平成24年度 一色中学校 学校経営方針

誰もが、様々な関わりを通して、  
自身のかげがえのなさを実感し、輝ける学校づくり



## 目指す子どもの姿

- ・自分自身を大切にすると共に、他の人を大切にすることができる
- ・自ら学び、考え、行動できる

## 学校教育目標

『自立』『自律』『共生』を目指して  
～『人権いしき』で、5W1H～

## 目指す教職員の姿

- ・様々な立場で教育に携わる者として、使命感に燃え、夢と希望を子どもたちに与えることができる
- ・人権を尊重した関わりができ、厳しさと優しさを兼ね備えている

## 保護者の願い

- ・確かな学力と社会規範の育成
- ・安全で楽しい学校
- ・子ども保護者の思いに寄り添う学校
- ・情報提供

## 地域の願い

- ・地域を愛する子どもの育成
- ・子どもの地域活動への参加
- ・地域が誇れる学校づくり
- ・情報提供

保護者と共に



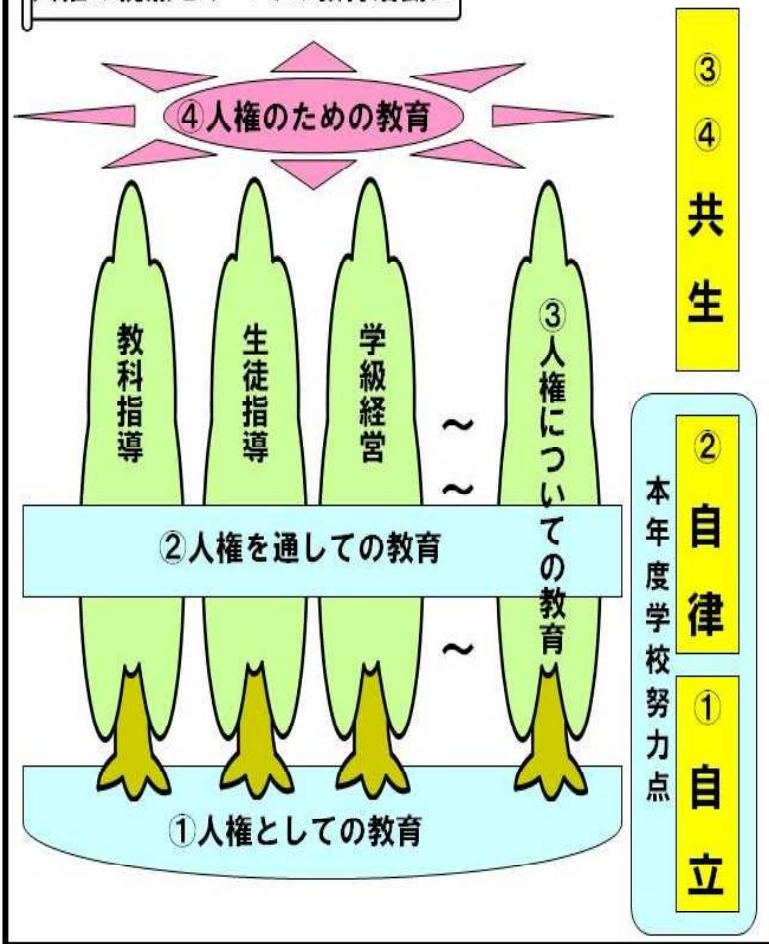
地域と共に



- 小中連携
- 公的機関との連携



## 人権の視点をすべての教育活動に



## 『共生』を目指して

### <③人権についての教育>

- コミュニケーションスキルなどの人権感覚や人権に関わる具体的な課題について学ぶ教育
- ・人権課題に関わる学習
- ・人権感覚の涵養

### <④人権のための教育>

- すべての人々の人権が尊重される社会を担い得る人間として、成長できる生徒を育成するための教育
- ・具体的な実践活動

## 本年度学校努力点の重点

### 『自律』を目指して <②人権を通しての教育>

- すべての学習活動を通して、子どもの人権が守られ、かけがえのない存在として活躍できる場が与えられる教育
- ・人権が尊重された教育の場の設定を通しての実践
- ・子ども同士、教師と子ども、教職員同士それぞれが、様々なかかわりを通して行う実践

### 『自立』を目指して <①人権としての教育>

- 「教育を受けること自体が人権である」として、教育の機会が保障され、自己実現できる主体的な力を育成する教育
- ・教育環境の整備
- ・基礎学力の習得及び学力向上の実践
- ・子どもの実態を見つめ、手立てを考える実践
- ・4感覚を磨く実践
  - (1) <安心できる(包み込まれ感覚)>
  - (2) <出番がある(社交性感覚)>
  - (3) <がんばればできる(勤勉性感覚)>
  - (4) <自分が好き(自己受容感覚)>

## 本年度学校教育の努力点

### 主体的に行動できる生徒の育成～『自立』と『自律』を重視して～

※本校のとらえている「自立」と「自律」については、次のよう内容として考える。

- ・自立とは…自ら目標や計画を立てて、粘り強く最後まで取り組むこと。
- ・自律とは…自分の周りの仲間を大切にできる心を持ち、仲間と共に力を合わせて望ましい行動がとれること

生徒一人一人が主体的に行動をするためには、生徒自身が自ら目標や計画を立てて、粘り強く取り組むことが必要である。それと共に、人としてより良く生きるためには自分の周りの仲間を大切に、その時々に応じた適切な行動がとれることも必要である。この「自立」と「自律」がバランスよく保てるようになれば、生徒自ら主体的に行動でき、将来的の「生きる力」につながるものとなる。そこで努力点を具体化するために、以下の手立てと具体的な教育活動と指導内容を設定する。

## 手立て

### 『自立』のために

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を習得するために、これらの学習を繰り返し行う。また、定期テストへの取り組みの機会を捉えて、生徒自身が自分に合った学習計画を立てて、学習活動に臨むことができるように支援する。
- ② 学校行事などに、生徒が自主的に「何をするのか」「どのようにしたいのか」の見通しをもって取り組めるように支援する。

### 『自律』のために

- ① 学年・学級の仲間とのかかわりや、教師とのかかわりを通して、その場に応じたふさわしい言葉遣いや態度を身につけることができるようにする。
- ② 学校生活を通じて、自分が所属する学級や学年の仲間を大切にできる心を持ち、仲間と共に力を合わせて行動することができるようにする。

## 具体的な教育活動と指導内容

### 『自立』のために

- ① 朝の会の前の時間を利用して、基礎的・基本的な内容を中心とした朝学習を実施する。
- ② 9月初めと1月初めに基礎学コンクールを行い、基礎学力の充実を図る。また、コンクールで一定の成果をあげた生徒に対して、集会で表彰を行う。
- ③ 普段の授業では、授業規律を大切にし、よりわかる授業をするために特設で研究授業を行い、指導法を探る機会を設ける。
- ④ 行事ごとに生徒の思いや願いを基にしたテーマを設定し取り組む方向性を明確にした活動を行う。

### 『自律』のために

- ① 道徳の授業を中心に、望ましい人間関係のあり方を考える機会を多くもつことにする。
- ② 学級の生徒一人一人の思いや願いを基にした学級目標を設定し、それを基にした学級活動を行う。
- ③ ノーチャイムを実施し、自主的・自発的な行動がとれるようにする。